

令和7年度 第2回 犬山市地域公共交通会議 議事要旨

日時：令和7年10月3日（金）午前10時～

場所：犬山市役所2階 201・202 会議室

出席者：19名中19名

1 開会

【事務局】 開会の挨拶を行う。

2 あいさつ

【磯部会長】 挨拶を行う。

【事務局】 犬山市地域公共交通会議の委員数19名に対し本日は19名が出席で、全員が出席しているため、本日の会議が成立していることを宣言する。
傍聴者（2名参加）について、説明を行う。また、代理出席、配布資料について説明を行う。

3 議事

【磯部会長】 議事に先立ち、本日の議事録署名者を指名。宮川委員、宮部委員にお願いする。

（1）協議事項

①公共ライドシェアの継続について

【事務局】 資料1の説明を行う。

【磯部会長】 公共ライドシェアは他ではあまり行われていない、犬山市独自の工夫が凝らされた取り組み。本件を議論するにあたり、4つの観点で整理できると思う。
第一に、今後も「時間的空白」が存在し続けるのか。第二に、利用者からの「需要」はあるのか。第三に、ドライバー確保など「供給」の安定性は保てるのか。第四に、継続にあたっての「改善点」はあるか。

【若林委員】 協力事業者の決定方式について現在は指名競争入札となっているが、今後も事業を継続するのであれば、価格だけで事業者を決定する方法では、安全管理体制が疎かになる懸念がある。利用者の利便性向上なども含め、事業者の提案内容を評価できるプロポーザル方式の導入を、長期的な視点でご検討いただきたい。

【事務局】 プロポーザル方式も検討したが、本事業は路線、ダイヤ、ドライバーの時給などを市が固定的に定めているため、事業者の提案の余地が少ないと判断し、今回は入札方式とした。しかし、ご指摘の通り、今後の事業者選定においては、プロポーザル方式も含めて検討していく。

【山田委員】 ドライバー確保の課題について、具体的な方策を聞きたい。

【事務局】 現在のドライバー4名からは、当継続意向を確認している。後任の確保については、

広報やハローワークでは集まらないので、人づてでの募集が中心となる。可能性の1つとして市の職員OBや会計年度任用職員を活用することや、プロポーザルで事業者提案してもらうなど、いろいろな手段を検討している。

【磯部会長】 ドライバー確保は供給の安定性に関わる最も重要な課題。
事務局の原案通り承認することよろしいか。

【委員】 異議なし。

【磯部会長】 全員一致で原案通り可決された。

②わん丸君バス再編について

【事務局】 資料2の説明を行う。

【松浦委員】 ショッピングセンターへの乗り入れは、利便性が向上し大変良い取り組みだと思う。

【磯部会長】 バス停は通常道路上に置くが、今回は施設の中に入っていくという取り組み。事務局から補足などあれば。

【事務局】 乗り入れにより、利用者が道路を横断する必要がなくなり安全性が向上する一方、敷地内での徐行運転により所要時間が増加するというデメリットある。全体のダイヤとのバランスを考慮しながら検討を進めていく。

【磯部会長】 バス停の名称について、商業施設の名前をバス停名として使用しない方針とのことだが、何が理由はあるか。

【事務局】 わん丸君バスでは、車体広告や車内放送で広告収入を得ている。特定の商業施設名を無料でバス停名に採用すると、既存の広告主との公平性が保てなくなるため、基本的には地域名など中立的な名称を使用する方針としている。

【磯部会長】 新しく通る道やバス停の手続きについて、今後の進め方はどうか。

【事務局】 本日ご協議いただいた路線案に基づき、12月の次回会議までに、警察（公安委員会）や道路管理者と新設ルート安全性について協議を進め、その結果を次回会議に示したい。

【磯部会長】 再編について、この方針で進めることをご承認ということによいか。

【委員】 異議なし。

【磯部会長】 全員一致で承認された。

（2）報告事項

①パブリックコメントの実施について

【事務局】 資料3の説明を行う。

【磯部会長】 より使いやすくする方向に動いている。

【坂井田委員】 乗務員の観点から、中学生の運賃見直しは大変ありがたい。小学生と中学生の見分けがつきにくい場面があるため、明確になることで円滑な運行に繋る。

②その他

- 【鈴木委員】 「尾張北部地域 MaaS の実証実験を実施します」について説明。
県では、尾張北部 5 市町を対象に、MaaS アプリ「my route」とポータルサイト「おとなりバスなび」を活用した実証実験を 9 月 15 日から 12 月 15 日まで実施。この取り組みにより、コミュニティバスの利便性向上や市町を越えた移動の促進を目指す。
- 【小林委員】 「バス運転手になろう」について説明。
バス業界は全国的に深刻なドライバー不足に直面しており、路線の減便や廃止が相次いでいる。この状況を打開するため、中部運輸局様のご後援のもと、バス事業者合同の就職説明会を開催し、このような取り組みを通じて人材確保に努める。

4 閉会

- 【事務局】 閉会の挨拶を行う。次回会議の案内をする。
令和 7 年 12 月 19 日（金）14:00～実施する。

以上

本書は、令和7年10月3日に開催された犬山市地域公共交通会議の議事要旨に相違ないことを証する。

令和 7 年 10 月 23 日

署名人 宮部 敬輔

署名人 宮川 弘子